



12月のできごと



町イチ！村イチ！2017

全国の町村が一堂に会し、それぞれ地域の特産品や観光資源などの「宝」をPRする「町イチ！村イチ！2017」が、12月2、3日に東京国際フォーラムで開催され知名町も参加しました。会場には、2日間で約48,000人が来場。入場制限がかけられるほどの盛況ぶりで、知名町も多くの来場者に特産品や観光のPRをすることができました。



JAC就航45周年を記念して

日本エアコミューターの鹿児島、沖永良部線就航45周年記念セレモニーが、12月1日にえらぶゆりの島空港でありました。セレモニーでは、両町のゆるキャラも参加し、1便で鹿児島空港から到着した搭乗者と鹿児島空港へ向かう搭乗者に記念品が手渡されたほか、機長へ花束の贈呈などが行われました。



青少年のための科学の祭典

青少年のための科学の祭典2017in知名が、12月16日にあしびの郷・ちなでありました。今回は、島内の学校、企業、個人が、「不思議なコマづくり」「建設機械体験」「科学カイロづくり」など19の体験ブースを設けました。会場には、「普段学校の授業では学べない科学の不思議を体験しに多くの子どもたちが訪れ、楽しんでいました。」



マンホールカードで町をPR

知名町のマンホールカードの無料配布が、12月9日からおきのえらぶ島観光協会でも始まりました。マンホールカードとは、ご当地のマンホール蓋をカードにしたもので、今回知名町の発行は県内初、さらに全国の離島初となりました。取得第1号は平文雄さん(上平川字)で、「他の地域のマンホールカードも集めたい」と喜んでいました。



1日保護司を体験して

下平川小学校6年生の沖野航平さんが、「社会を明るくする運動」の鹿児島県推進委員会主催の作文コンテストにおいて、最優秀賞の県推進委員会委員長賞を受賞し、その伝達式が、11月20日に同小校長室であり、知名町保護司会の木脇茂盛会長から沖野さんへ表彰状が手渡されました。今回の作文は、今後全国のコンテストに送られます。



クリスマスの図書館まつり

クリスマス为主题にした図書館まつりが、12月16日に中央公民館でありました。図書館職員と知名小学校むんがたいによるおはなし会やリサイクル本市、フリーマーケットのほか、子どもたちが牛乳パックで作ったクリスマスブーツの審査会なども行われ、会場は多くの家族連れでにぎわっていました。